

総額 149億5,470万5,000円

令和3年度 当初予算

が決まりました。

地域の
活力は
「人」



〈予算の特徴〉

令和3年度の当初予算は、4月に市長選挙を予定しているため、「骨格予算」となっています。一般会計の歳入歳出予算総額は、149億5,470万5,000円で、前年度当初予算に比べ4,345万5,000円(0.3%)の減となります。

なお、市民生活に欠かせない福祉や医療をはじめ、新型コロナウイルスの感染拡大防止や地域経済の活性化、防災・減災などに対応するための予算は、新規事業であっても可能な限り計上しています。

〈主な事業〉

新規

■「恋人の聖地」観光誘客連携による地域活性化事業
(予算額) 2,192万7千円

全国の「恋人の聖地」がある自治体と連携し、地域活性化を図る各種事業を実施します。

緊急自然災害防止対策事業

(予算額) 2,040万7千円
災害の未然防止と農業水利の安定確保のための対策を実施します。

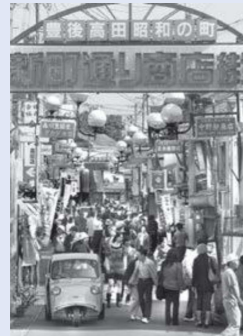
継続

■豊後高田ふるさと応援寄附金推進事業
(予算額) 2億5,499万6千円

全国トップレベルの子育て支援を継続・発展させるため、ふるさと応援寄附金の取組を効果的に推進します。

昭和の町 リブランディング事業

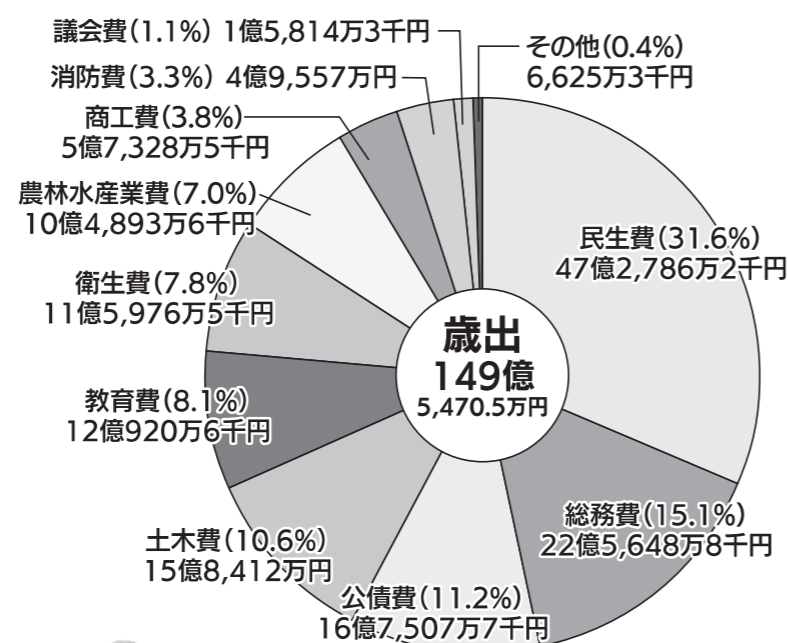
(予算額) 2,350万円
20周年を迎える「昭和の町」の持続的発展を図るための各種取組へ補助等を行います。



歳出用語解説

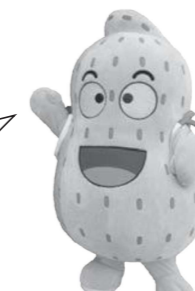
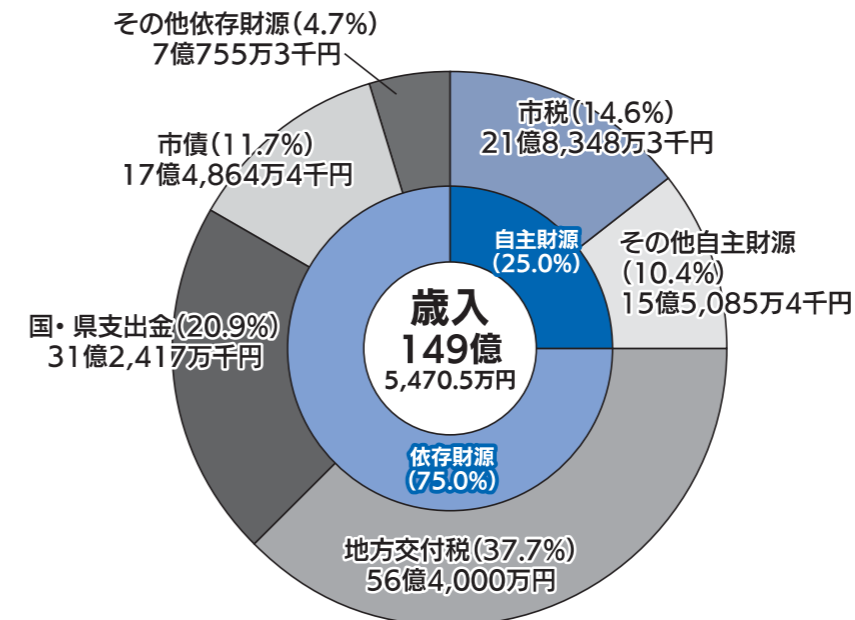
民生費	高齢者や障がい者、児童の福祉などにかかる費用
総務費	税務、戸籍、選挙などの行政運営や各種基金の積立などにかかる費用
公債費	市の借金(市債)の返済にかかる費用
土木費	道路整備、公営住宅や公園の管理などにかかる費用
教育費	学校の運営や生涯学習、文化、スポーツ振興などにかかる費用
衛生費	医療費助成・健診などの健康増進やごみ処理などにかかる費用
農林水産業費	農林漁業の振興や有害鳥獣対策などにかかる費用
商工費	商工業や観光振興にかかる費用
消防費	市民の防災対策や消防・救急などにかかる費用
議会費	議員の政務活動や市議会の運営にかかる費用
その他	雇用対策や予備費などにかかる費用

一般会計 歳出の内訳



ふるさと納税の寄附金は、「子育て支援事業」に使っているよ

一般会計 歳入の内訳



収入の内訳だよ！地方交付税の割合がすごく高いんだね

歳入用語解説

市税	市民税や固定資産税などの税金。※前年度比で約1億5,000万円減収見込み。
その他自主財源	公共施設の使用料や各種証明手数料、貸付金の元利収入、寄附金など。※引き続きふるさと納税の増額に取り組みます。
地方交付税	どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるように国から交付されるもの。※前年度と同額見込み。
国・県支出金	国・県からの補助金など。※交付金制度等を積極的に活用するなど財源の確保に努めます。
市債	市が借り入れる借金。※返済額の一部が地方交付税に加算される有利な地方債を中心に借入を行います。
その他依存財源	地方譲与税や地方消費税交付金など

令和2年度3月補正予算が決まりました (P2・3の新型コロナウイルス感染症対策関連分含む)

(補正額) △1億6,142万9,000円 (補正後の予算総額) 188億4,897万8,000円

主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策と障がい福祉サービスに係る給付費、県営土地改良事業の規模拡大等に伴う負担金などを計上しています。また、事業未実施等に伴う減額補正も併せて行いました。

令和2年度補正予算専決処分を行いました (令和3年1月22日専決)

(補正額) 1,450万4,000円 (補正後の予算総額) 190億1,040万7,000円

新型コロナウイルスワクチンについて、市民の皆さんが遅滞なく接種を受けられるよう、接種体制を早急に整備する必要があったため、専決処分しました。

財政課 ☎25-6394